

社会資本総合整備計画事後評価書

令和 2 年 12 月 3 日

計画の名称	和泉市におけるみどり豊で安全、快適な公園・緑地環境づくり（第二期）									
計画の期間	平成27年度～令和元年度（5年間）	交付団体	和泉市							
計画の目標	和泉市においては、和泉市総合計画に基づき、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目標とし、その中で安らぎとうるおいを与える公園・緑地づくりを推進している。本市の総合公園である、緑豊かな松尾寺公園と、住宅密集地での防災公園の役割を担う黒鳥山公園の整備を推進するとともに、既存公園の遊具等の施設改良を行い、市民が快適で安心して生活できる憩いの空間・環境づくりを推進していく。 また、自然豊かな信太山丘陵里山自然公園を、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として整備を推進していく。									
計画の成果目標（アウトカム指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・全市民に対する総合公園（黒鳥山公園・松尾寺公園）の一人当たり供用面積：0.83㎡/人（平成26年度末）→0.93㎡/人（平成31年度末） ・公園施設長寿命化計画に基づき更新が完了した公園数の割合 0%（平成26年度末）→100.0%（平成31年度末） 									
アウトカム指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値	備考					
				当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)				
①	全市民に対する総合公園（黒鳥山公園・松尾寺公園）の一人当たり供用面積 全市民に対する総合公園の供用面積 / 市総人口（18.7万人設定）			1㎡/人	1㎡/人	1㎡/人	全市民に対する総合公園の供用面積/市総人口（H27当初）0.83㎡/人、（H29末）0.89㎡/人、（H31末）0.93㎡/人			
②	公園施設長寿命化計画に基づき更新が完了した公園数の割合 更新が完了した公園数 / 更新計画のある公園数			0%	48.0%	100.0%	更新が完了した公園数/更新計画のある公園数（H27当初）0%、（H29末）48.3%、（H31末）100%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	925 百万円	A	925 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果に至った要因等を分析した。その検証結果を踏まえ今後の方針を検討するとともに、その評価に透明性、客観性、公正さを反映させるため、学識経験等を有する第三者による事後評価委員会に意見を求めた。	令和2年度 公表の方法	市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業												上段：計画	下段：実績			
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
A12-001	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	-	都市公園事業（黒鳥山公園）	園路・広場・休憩所等 1.1ha 園路・広場・休憩所等 0.9ha	和泉市						150 209	
A12-002	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	-	都市公園事業（松尾寺公園）	園路・広場・休憩所等 0.8ha 園路・広場・休憩所等 0ha	和泉市						90 0	
A12-003	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	-	和泉市公園施設長寿命化対策事業	29公園 33公園	和泉市						150 81	
A12-004	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	-	都市公園事業（信太山丘陵里山自然公園）	用地買収 3.4ha 用地買収 0ha	和泉市						535 0	
										合計				925 290		
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況								
I 定量的指標に関連する		<p>指標①・・・黒鳥山公園・松尾寺公園ともに目標達成していないため、一人当たり利用面積の拡大は微増となった。 総合公園の一人当たり供用面積 目標0.93㎡ → 実績0.88㎡（整備面積 計画1.1ha → 実績0.9ha）</p> <p>指標②・・・老朽化した遊具、205箇所のうち29箇所の更新を当初計画し、さらに4箇所を追加し33箇所の対応が完了。 （うち、社会資本総合整備計画事業による更新公園数は23箇所） 結果、目標を達成する事ができた事により遊具利用の安全性が向上した。 老朽化した遊具を改築した公園割合 目標100% → 実績113%（改築公園数 205公園のうち29公園の改築を計画+追加4公園 → 実績33公園）</p>						
II 定量的指標の達成状況		指標①（全市民に対する総合公園の一人当たり供用面積）	最終目標値	0.93㎡/人	算定式	$\frac{((7.9\text{ha}+1.1\text{ha})+7.7\text{ha}+0.8\text{ha})}{187,000\text{人}}$	目標値と実績値に差が出た要因	黒鳥山公園については園路等の整備は終えており、実質目標である1.1ha以上の整備は完了している。しかし、園路より内側部分の広場整備が完了していないなど、告示ができない箇所があるため目標達成には至らなかった。 ※別紙、参考資料参照 また、松尾寺公園においてはH29年度より整備を行う予定としていたが、H29年度に発生した台風21号による大雨災害により法面が崩壊し階段・木製デッキ部分に被害を受けた。そのことから災害復旧に時間を要した為、目標としていた整備面積の拡大には至らなかった。結果、整備完了まで予定より3年程度遅れる事となった。
		最終実績値	0.88㎡/人	算定式	$\frac{((7.9\text{ha}+0.9\text{ha})+7.7\text{ha}+0\text{ha})}{187,000\text{人}}$			
	指標②（老朽化した遊具を改築した公園割合）	最終目標値	100%	算定式	29公園/29公園	目標値と実績値に差が出た要因	当初、改築が必要な205公園のうち優先度が高いと思われる29公園の改築を計画した。しかし、地元より改築を望まれないといった事や改築が必要な優先度合を適宜見直し、補修や撤去といった柔軟な対応を行った結果、社会資本交付金を活用し改築を行った公園数は29公園のうち19公園となった。 さらに財源を有効的に活用するため、新たに4公園を追加し、結果33公園の対応を行い、目標としていた公園数を達成する事ができた。	
		最終実績値	113%	算定式	33公園/29公園			
		最終目標値		算定式		目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値		算定式				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、四阿といった建築施設の設置、園路広場・修景施設の整備により、公園利用時の利便性の向上が図られたため、より快適な公園利用が可能となった。 ・また、かまどベンチや災害用トイレを整備し、一次避難地としての防災機能を拡充させる事ができた。 ・老朽化した遊具の改築により、利用者の安全確保と安心感の向上につながった。 						
3. 特記事項（今後の方針等）								
<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園事業で整備を行っている黒鳥山公園(A12-001)については、市街化区域の中にあり防災公園の機能を有することから、今後大きな役割を果たす公園と認識しており、今回未整備となった園路内側部分の広場について早期完成を目指すとともに今後、多目的広場等の整備を行い広範囲より多くの方が訪れて頂ける魅力ある公園整備を継続していく。 ・また、松尾寺公園(A12-002)については、市街化調整区域に位置しているが、和泉中央丘陵新住宅市街地開発事業「トリヴェール和泉」開発地の南端に近接しており、公園近辺の住宅開発も進み住宅が建ち並んできている。よって、今後さらなる公園利用者の増加が見込まれることから継続して事業を行っていく。 ・遊具等、老朽化した公園施設の改築等(指標②)については、公園施設長寿命化計画(A12-003)に基づき計画的に実施していく。 ・信太山丘陵里山自然公園(A12-004)に関しては当初予定していた用地買収の着手には至らなかったが、今後、市民の憩いの場・自然体験の場・環境学習の場として令和6年一部開園(予定)を目指して整備を推進していく。 								